

まこい補少



筆慶永 上司 当別寺大東215第

少年補導員協会 発足三十一年目を迎えて

生駒警察署少年補導員協会

会長 有山 豊茂



生駒警察署少年補導員協会は、昭和三十一年目を迎えるにあたり、これまで築いてこられた会員の諸先輩と、何よりも当協会に深いご理解とご力添えを頂きました関係の皆様、並びに地域の皆様にあらためて御礼を申し上げます。

生駒警察署少年補導員協会は、昭和五十九年七月に発足し、平成十八年に「奈良県少年補導に関する条例」が制定され今日を迎える事になりました。誠に感慨深いものがございます。

その間、会員の皆様にはそれぞれ仕事をもちながらの

ボランティア活動で、時には昼夜を問わずの活動でした。

現在は四十一名が奈良県警察本部長から委嘱を受け活動しております。主な活動は街頭や駅周辺での声かけ運動、見廻り活動、各地域で催されるお祭りでの補導啓発活動など、特に女性部「ゆうゆう」の紙芝居を使った誘拐防止を呼びかける活動は主に生駒市内の保育園や幼稚園を中心にご好評を得ております。

さて、県下の非行状況を少し申し上げますと、ここ数年、非行は減少状況にあります。が、非行の低年齢化が目立ち、何かの原因で罪を犯した少年の再犯率が高いのが特徴であります。再犯を防ぐために何が必要なのか、我々補導員、地域の方々が、また社会

が、学校がこの様な子どもたちにあたたい手をさし、厳しくも親身になって導き、非行のない街を社会をつくる事ではないでしょうか。そのためには、我々ボランティアと地域、学校が一つになって協力し連携を密にして行かなければならないのではないのでしょうか。

世の中ではあらゆる情報が満ちあふれております。インターネットや携帯電話・スマートフォン・タブレットなど、便利な半面、子どもたちにとって有害な物も多く存在しております。携帯電話やスマートフォン・フィルタリングで、有害サイトへのアクセス制限サービスを利用し、子どもたちが有害なサイトを見ないように保護者や大人たちが使用する時間などを決める事も大切だと思われま

ます。早いもので平成二十六年も上半期が過ぎ、今、特に目立つ事案といえば「覚せい剤」や「大麻」などの薬物の使用による事件、特に「脱法ハーブ」を使った身勝手な危険極まりない事故、事件が目立つのが残念です。このような大

人たちの間違った一時的な快楽を得るために罪のない多くの方が犠牲になり、時には尊い命さえも奪ってしまいう卑劣な行動はあつてはいけない事でありま

す。この事、この事、私たちが大人が襟をただし子どもたちの模範になる様に心がけたく思います。更なる安心・安全な街を目指して見廻り活動や声かけ、補導啓発活動など非行を生まない街、非行を起こさない地域を実現するために、微力ではございますが会員一丸となって活動して行く覚悟でございます。

今後も、関係の皆様方におかれましては、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、私の挨拶といたします。

空き巣 車上・部品ねらい 振り込め詐欺が多発！ ご注意ください。

着任にあたって

生駒警察署副署長

東田 至弘



本年三月四日付けで、生駒警察署副署長に着任いたしました東田至弘でございます。

生駒警察署は初めての勤務となります。

私は、昭和五十九年に警察官を拝命し、主に警衛警護、警備実施及び災害警備部門で勤務をしておりました。

皆様方には、平素ご多用の中でボランティア精神に徹し、少年の非行防止、健全育成及び犯罪抑止対策にご活躍のこと、心から感謝と敬意を表する次第であります。

次代を担う青少年を非行から守り、健全に育成することは、全ての住民共通の願いであり、私ども大人に

課せられた重大な使命であります。

昨年の県内における少年非行の現状は、犯罪少年(罪を犯した満十四歳以上二十歳未満の者)は減少傾向にあるものの、触法少年(刑法罰法令に触れた行為をした十四歳未満の少年)については、前年に比べて約三十%増加するなど、少年非行の低年齢化が深刻な状況となっております。

生駒警察署管内における今年五月末の不良行為少年の補導件数は八十八名で前年同期と比較しますと二十三名増加、犯罪少年及び触法少年等は三十七名で前年同期と比較すると八名増加している状況にあります。最近、少年を取り巻く環境が急速に変化してきております。特に、携帯電話に変わってスマートフォンが少年の間でも急速に普及しております。正しく使えば非常に便利なものですが、

少年が今まで以上に有害情報にアクセスしやすくなり、出会い系サイトの利用から少年の福祉を害する被害に遭うといった事件も発生しているところであります。

これらの問題に対処するため、少年の非行防止を重点に掲げて各般の活動を推進しているところでありますが、もとより青少年対策は、関係の機関、団体をはじめ、家庭、学校、職場、地域のすべての人々が、それぞれの立場で知恵と力を出しあい、青少年の健全育成に果たすべき機能と役割を認識し、相互に連携と協調を図り、根気よく取り組まなければ実効を期することはできないのであります。少年補導員の皆様方には、関係行政機関と地域社会との間にあって、両者の架け橋の役割を果たされますとともに、それぞれの地域における活動の推進者として、青少年のすこやかな成長のため、その指導力と影響力を存分に発揮していただき、謝申し上げます。心から感謝申し上げます。次第であります。

終りに、当協会の益々の発展と皆様方のご健勝とご活躍を祈念いたします。私の挨拶といたします。

生駒警察署生活安全課

警部補 白神 新吾



本年、生駒警察署生活安全課防犯・許認可係長として着任しました白神新吾でございます。

私は、高校を卒業した平成四年に警察官を拝命し、柔道特別訓練員として県警の代表として十年間汗を流し、その後遅咲きで刑事となりました。

その際、平成二十一年と二十二年の二年間、生駒警察署の強行犯係で勤務させてもらい、今回二回目の勤務となります。

しかし、今回は警察人生初めての生活安全課の勤務となり、入って初めて分かった窓口の広い業務内容、しかも少人数制ということ

で、日々戸惑いながら勤務している次第です。更に、全国的に見て、インターネットの普及によりあらゆる犯罪の低年齢化が進行しており、到底生活安全課だけの体制でこの状況を打破できる訳もありません。

ですが、これも入って初めて分かった少年補導員協会の方々の力。

多数の人が仕事をされている中、毎月一回の合同少年補導、女性部の紙芝居による園児に対する被害防止活動等、私達生活安全課員が手の回らないところをボランティアでのご支援、更には、初めて生活安全課員となった私に対しても、気さくに声を掛けてくださる等本当に感謝しております。今後も、少年補導員協会の皆様と共に少年健全育成と、非行防止活動に努めていきたいと思っております。

生駒警察署生活安全課係員
名越 崇則



本年三月二十八日付けで、生駒警察署生活安全課係員として着任いたしました、名越崇則と申します。

私は平成二十二年に奈良県警察官を拝命し、その翌年に警察学校を卒業し生駒警察署の地域課員として配属されました。

その後約三年間、生駒警察署の交番警察官として勤務をし、現在に至ります。

警察官としての経験年数は約三年半と非常に浅く、また、生活安全課員として勤務するのは今年度からなので、まだまだ未熟な身ではあります。その分やる気に満ちあふれているような状況です。

私が、今まで交番警察官として勤務する中で、少年は、非常に純粹で素直であるが故に真つ直ぐ育つこともあれば、周囲の影響から道を踏み外し、非行に走っ

てしまうことも起こりやすいものであると感じました。

そのような存在であるからこそ、我々大人達が少年達に悪影響を与えることの無いような環境作りや、道を踏み外しかけている少年達の更生や健全育成に力を注ぐことが非常に重要であると考えています。

日頃から少年補導員協会の皆様方は、忙しい身であられながら積極的に少年の健全育成と非行防止のため活動されており、尊敬の念に堪えません。

私も皆様に負けじと全力で努力していく所存ではありますが、まだまだ若輩もの身であり、皆様にも迷惑をおかけすることもあるかと思いますが今後ともどうかよろしくお願いします。



生駒警察署生活安全課主任
森本 祐子

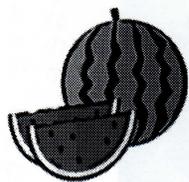


この度平成二十六年三月二十七日付けで生駒警察署生活安全課に赴任しました森本でございます。

私は生駒署の勤務は初めてであり、五署目の生活安全課勤務となります。

生駒署に赴任して早々、補導員の方々の保育園等に対する被害防止教室や補導活動の拝見させていただき、生駒の少年補導員協会は大変活発で活動的であることに驚き、私も負けないように頑張っていこうと決意を新たにしました。

まだまだ未熟でありますので、これからご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



新会員さんの横顔

中地区 植田 一宏



平成二十六年七月一日付けで、少年補導員を委嘱されました植田一宏と申します。昭和四十八年に生まれ、生駒の地に来てから三十七年が経ちました。

生駒小学校、緑ヶ丘中学校、県内高校を卒業後、生駒市内の会社に就職し、現在に至ります。

五年ほど前よりボイスカウト活動に参加し地域の子ども達と接すると共に、二年前には第一子を授かり、生駒で生きるだけでなく、何か地元役に立つことができないうものかと考えているところ、先輩より「少年補導員」のお話を頂き、微力ながらご協力させて頂く事となりました。

これからは、諸先輩方に

色々教わり頑張っていきたいので、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。



長年にわたり少年の非行防止、健全育成の活動に尽力されました生駒警察署少年補導員協会 有山豊茂会長が、平成二十六年近畿少年補導功労者として、また同出垣眞智子氏が、平成二十六年全国少年補導功労者、鉄東祖愛氏・寺田勝昭氏が奈良県少年補導功労者表彰を受賞されました。また功労団体表彰では生駒警察署少年補導員協会南地区が表彰を受けています。おめでとうございます。

日帰り研修報告

南地区 瀧口 政則

今年の研修は、三月四日に海上自衛隊舞鶴地方隊に行ってきました。

京都府舞鶴市、戦前より続く軍港の町であり、現在も日本海側唯一の海上自衛隊基地にして第三護衛隊群の母港にして、広範囲の日本海を警備する舞鶴地方隊の母港でもあります。

そして、日本海側唯一の造船所が存在する場所でもあり、現在も様々な船が建造されています。

舞鶴地方隊は昭和二十七年八月に設立以来六十二年間、北は秋田県から西は島根県に至るまでの沿岸部を含む広大な警備区を有し、主として日本海正面の海上防衛を担っておられ、現在、舞鶴に所在する部隊には、最新鋭イージス艦をはじめとする多くの護衛艦や補給艦、更には航空機等が配備され、隊員が一丸となって日々任務に励んでおられま

す。

海上自衛隊は、我が国周辺の警戒監視をはじめとして、主任務である防衛・警備はもちろんのこと、ソマリア沖海賊対処に代表される海外での任務、また昨年は東日本大震災への対応など、多岐にわたる任務を遂行しておられ、また、舞鶴地方隊は警備区の防衛・警備に加え、艦隊等に対する後方支援や人材の育成に当たる教育等の任務も有され、いかなる任務に対しても国民の負託に応えられる即応態勢を維持すべく、日頃から専心職務に邁進されておられます。



この日、乗船可能であったのは、護衛艦あたご型護衛艦の一番艦で、映画『バトル・シップ』で実際に使用されたイージス艦の「護衛艦みょうこう」に乗船させて頂きました。まず驚いたのは、艦の大きさ、そして、最新の装備。その装備の説明や艦内を、案内して頂きました。

一番驚いたのは、隊員の方たちが、自ら艦の修理及び塗装などされている事、如何に艦を大事にされている事が分かりました。

次に訪れたのは、海軍記念館です。旧海軍の誇り高い史実と伝統を後世に伝える

とともに、隊員の教育に資することを目的として、昭和三十九年五月二十七日舞鶴地方総監部大講堂の一部に設立され、日露戦争からの歴史など分かり易く展示されていました。



平成二十六年生駒警察署少年輔導員協会定時総会が、七月一日(火)に生駒警察署にて開催されました。

有山会長をはじめ新会員の出席をいただきました。第一部では、有山会長、飯尾署長の挨拶の後、前年度の事業結果報告・収支決算報告・監査報告。休憩をはさんで引き続き行われた第二部では、解職者および長年にわたる在籍会員に対して署長より感謝状の贈呈、協会員への委嘱状交付。第三部では平成二十六年度の事業計画案・予算案が満場一致で承認されました。

その後第四部では、「青少年の健全育成に関する取り組みについて」主に「スマートフォン使用に伴う危険性」をテーマに奈良県警察本部少年課 末武正之課長補佐にご講演いただきました。

平成二十六年度
定時総会